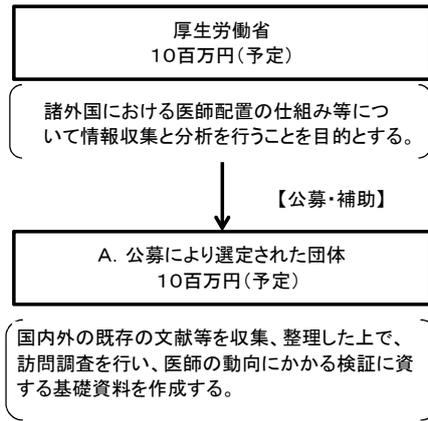


平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>		諸外国における医師適正配置等の調査事業		<b>担当部局庁</b>	医政局			<b>作成責任者</b>
<b>事業開始年度</b>	平成28年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	医事課			課長：渡辺 真俊
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	I-2-1 今後の医療需要に見合った医療従事者の確保を図ること			
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	-			<b>関係する計画、通知等</b>	-			
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	医師の地域偏在・診療科偏在が課題となっていることから、我が国の医師配置の仕組みについて検証するための基礎資料として、諸外国における医師配置の仕組み等について情報収集と分析を行うことを目的とする。							
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	日本と同程度の医師養成の仕組みを有する諸外国の医師配置の仕組みについて、国内外の既存の文献等を収集、整理した上で、訪問調査等を行い、我が国の医師配置の仕組みの検証に資する基礎資料を作成する。							
<b>実施方法</b>	委託・請負							
<b>予算額・執行額(単位：百万円)</b>	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	0	0	0	0	10
	執行額	-	-	-	-	-	-	
	執行率(%)	-	-	-	-	-	-	
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
<b>定量的な成果目標の設定が困難な場合</b>	<b>定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標</b>			<b>定量的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績</b>				
	本事業は、諸外国における医師配置の仕組み等を調査検討し、我が国の医師配置の仕組みについて検証するための基礎資料を作成するもの。作成された資料は我が国の医師配置の仕組みの在り方等について検討するために用いるものであり、事業実施期間中に定量的な目標を設定することは困難である。			諸外国における医師配置の仕組み等の調査検討結果について報告書を出す。				
<b>事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績</b>	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 28 年度
	調査・検討結果の報告書	報告書数	実績	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	1
			達成度	%	-	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	訪問調査国数	活動実績	国	-	-	-	-	-
		当初見込み	国	-	-	-	-	-
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト=X / Y		単位当たりコスト	百万円	-	-	-	-
	X:執行額 Y:訪問調査国数		計算式	X / Y	-	-	-	-
<b>平成27・28年度予算内訳(単位：百万円)</b>	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	衛生関係指導者養成等委託費	-	10					
	計	0	10					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	医師の地域偏在・診療科偏在が課題となっていることから、我が国の医師配置の仕組みについて検証するための基礎資料として、諸外国における医師配置の仕組み等について情報収集と分析を行うものであり、国全体での議論の必要があるため、国費を投入すべき。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国全体で議論の必要があるため、国で実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	医師の地域偏在・診療科偏在に関して調査することは、医師の適正配置の観点から必要な事業であり優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位：百万  
円)

